

京都ノートルダム女子大学大学院 人間文化研究科
学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）

人間文化研究科における学生の学修成果を測定・把握し、教育成果の検証及び各種プログラムの改善に資するため、以下の方針に基づき学修成果の評価をおこなう。

1 評価基準

研究科における学修成果は、学位プログラムを提供する各専攻の「学位授与方針」に示す能力の修得状況を基準として評価する。

2 評価方法

研究科レベル、学位プログラム（専攻）レベル、科目レベルの各段階において、以下に示す評価指標を用いて総合的・多面的に評価する。

[1] 研究科レベル

就職率、進学率、研究業績、修了時アンケート、修了生アンケート等から研究科における活動全体を通じた学修成果の達成状況を評価する。

[2] 学位プログラム（専攻）レベル

各専攻の教育課程における修士論文の成果、GPA、免許・資格の取得状況等から学位プログラムとしての学修成果の達成状況を評価する。

[3] 科目レベル

シラバスに設定された科目の到達目標、ルーブリック評価、成績評価や大学院教育評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価する。

	評価対象	評価指標
研究科レベル	研究科における活動全体を通じた学修成果	就職率 博士後期課程進学率 研究業績（学術雑誌への論文掲載、学会大会・研究会での発表等） 修了時アンケート調査 修了生アンケート調査
学位プログラム（専攻）レベル	学位プログラムとしての学修成果	修士論文成果 達成度点検 DPによるカリキュラム点検 GPA 免許・資格の取得状況 退学率
科目レベル	科目ごとの学修成果	各科目の成績評価 ルーブリック評価 大学院教育評価アンケート

京都ノートルダム女子大学大学院 心理学研究科 博士前期課程

学修成果の評価に関する方針(アセスメント・ポリシー)

本学大学院心理学研究科 博士前期課程における学生の学修成果を測定・把握し、教育成果の検証及び各種プログラムの改善に資するため、以下の方針に基づき学修成果の評価をおこなう。

1 評価基準

本学における学修成果は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの修得状況を基準として評価する。

2 評価方法(評価指標)

研究科レベル、専攻(学位プログラム)、科目レベルの各段階から、以下に示す評価指標を用いて総合的・多面的に評価する。

[1] 研究科レベル

就職・進学率、退学・休学者数等から大学院における活動全体を通じた学修成果の達成状況を評価する。

[2] 専攻(学位プログラム)レベル

修士論文の成果、学位授与数、論文投稿数(論文採択数)、学会発表数、大学院教育評価アンケート、修士論文に関する自己評価、臨床実習における自己評価、資格(臨床心理士・公認心理師)の受験資格取得者数、TA雇用者数、DPによるカリキュラム点検、GPA等から専攻(学位プログラム)としての学習成果の達成状況を評価する。

[3] 科目レベル

シラバスに設定された科目の成績評価、ルーブリック評価等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価する。

	評価対象	評価指標
研究科レベル	研究科における活動全体を通じた学修成果	就職・進学率 退学・休学者数
専攻(学位プログラム)レベル	専攻(学位プログラム)としての学修成果	修士論文の成果 学位授与数 論文投稿数(論文採択数)・学会発表数 大学院教育評価アンケート 修士論文に関する自己評価 臨床実習に関する自己評価 資格(臨床心理士・公認心理師)の受験資格取得者数 TA雇用者数 DPによるカリキュラム点検 GPA
科目レベル	科目ごとの学修成果	各科目の成績評価 ルーブリック評価

3. 各ポリシーの検証方法

	入学前 (アドミッションポリシー)	在学中 (カリキュラムポリシー)	修了時 (ディプロマポリシー)
研究科レベル	入学試験	退学・休学者数	就職・進学率
専攻(学位プログラム)レベル	入学試験	論文投稿数(論文採択数) 学会発表数 大学院教育評価アンケート 修士論文に関する自己評価 臨床実習に関する自己評価 TA 雇用者数 DP によるカリキュラム点検 GPA	修士論文の成果 学位授与数 論文投稿数(論文採択数) 学会発表数 資格(臨床心理士・公認心理師)の受験資格取得者数
科目レベル	—	各科目の成績 ルーブリック評価	—

京都ノートルダム女子大学大学院 心理学研究科 博士後期課程

学修成果の評価に関する方針(アセスメント・ポリシー)

本学大学院心理学研究科 博士後期課程における学生の学修成果を測定・把握し、教育成果の検証及び各種プログラムの改善に資するため、以下の方針に基づき学修成果の評価をおこなう。

1 評価基準

本学における学修成果は、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの修得状況を基準として評価する。

2 評価方法(評価指標)

研究科レベル、専攻(学位プログラム)、科目レベルの各段階から、以下に示す評価指標を用いて総合的・多面的に評価する。

[1] 研究科レベル

就職・進学率、退学・休学者数等から大学院における活動全体を通じた学修成果の達成状況を評価する。

[2] 専攻(学位プログラム)レベル

博士論文の成果、学位授与数、中間発表会の評価、研究計画書・研究報告書、論文投稿数(論文採択数)、学会発表数、博士論文審査(第一次・本審査)の申請状況、TA 雇用者数、大学院教育評価アンケート、外部資金(研究助成)獲得状況、DP によるカリキュラム点検、GPA 等から専攻(学位プログラム)としての学習成果の達成状況を評価する。

[3] 科目レベル

シラバスに設定された科目の成績評価、ルーブリック評価等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価する。

	評価対象	評価指標
研究科レベル	研究科における活動全体を通じた学修成果	就職・進学率 退学・休学者数
専攻(学位プログラム)レベル	専攻(学位プログラム)としての学修成果	博士論文の成果 学位授与数 中間発表会の評価 研究計画書・研究報告書 論文投稿数(論文採択数)・学会発表数 博士論文審査(第一次審査・本審査)の申請状況 TA 雇用者数 大学院教育評価アンケート 外部資金(研究助成)の獲得状況 DP によるカリキュラム点検 GPA
科目レベル	科目ごとの学修成果	各科目の成績評価 ルーブリック評価

3. 各ポリシーの検証方法

	入学前 (アドミッションポリシー)	在学中 (カリキュラムポリシー)	修了時 (ディプロマポリシー)
研究科レベル	入学試験	退学・休学者数	就職・進学率
専攻(学位プログラム)レベル	入学試験	中間発表会の評価 研究計画書・研究報告書 論文投稿数(論文採択数)・ 学会発表数 博士論文審査(第一次審査・本審査)の申請状況 TA雇用者数 大学院教育評価アンケート 外部資金(研究助成)の獲得状況 DPによるカリキュラム点検 GPA	博士論文の成果 学位授与数 論文投稿数(論文採択数)・ 学会発表数
科目レベル	—	各科目の成績 ルーブリック評価	—